

## 第16回 日本語教育夏期講座

### —日本語教育における日本文化の重要性—

対象：日本語教育に携わっている方、または日本語教育に関心のある方。埼玉県内在住または勤務する方。

目的：日本語教育についての理解を深める。

期日：平成29年7月28日（金）

会場：文教大学越谷校舎 3号館（3301R）

定員：30名

#### ◆ 講義内容

##### 講義①「イランにおける日本語教育—宮沢賢治作品のペルシャ語訳の試みと関連させて—」

サベル・モガッドム（イラン・テヘラン大学）

私は現在、文学部の鈴木健司教授の共同研究者として、宮沢賢治作品のペルシャ語訳の作業を行っています。10月初旬まで滞在の予定です。テヘラン大学日本語学科で10年以上日本語教育に携わっていた関係で、今回、この講座の講師を引き受けさせていただくことになりました。イランにおける日本語教育を、自分の体験をもとに分かりやすく説明しますので、これを機会にイランに興味を持っていただけたら幸いです。

##### 講義②「日本語の慣用表現と日本文化教育の接ぎ木」

文 明載（韓国・韓国外国語大学校）

日本語の慣用表現の中には日本の歴史、社会、思想、文化、国民情緒などを下敷きにして成立したものが多。一つの慣用表現が生まれるまでの事情を調べてみると、文法的な要素のほかにも、その裏には色々な時代状況が反映されていることが確認される。従って、言葉の一つ一つの意味を連結してはその表そうとする意図が通じないこともあり、外国語としての日本語を教える時、難しさを感じざるを得ない。その場合は慣用表現の背景となる文化的要素を理解した上で説明しなければならない。即ち、日本語の慣用表現を正しく教えるためにも文化的な背景を知っておく必要があり、裏返して言えば日本語の慣用表現を用いて文化教育の手がかりとすることもできるのである。このような観点に立ち、本講座では日本語の慣用表現と日本文化教育との接ぎ木を探る手がかりとして、「有難うございます」「将棋をさす」「家をつぐ」という三つの表現を取り上げ、これらの表現の成立過程とその文化的背景、日本人の情緒などについて考えてみることにする。

##### 講義③「変容しつつある中国珠江デルタの日本語教育」

周 文匯（中国・北京師範大学珠海分校）

南中国の日本語教育は、1990年代から、日系企業の進出に伴い、東北地域の人材が南下、日本語学校が林立、更に多くの大学で日本語科が増員或いは増設されるように至り、2000年代に珠江デルタでの最盛期を迎えていたのですが、近年、留学、就労、それに、アニメブームなどの新たな要素によって、異色の展開を見せています。それらの現象と日系企業内の言語教育についてもあわせてお話いたします。

# 文教大学

## 大学院附属言語文化研究所

### — 講座日程 —

#### 7月28日(金) ※全講座

- 9:40 受付  
10:10 開講式  
10:30~12:00 講義①  
12:00~13:00 — 昼休憩 —  
13:00~14:30 講義②  
14:45~16:15 講義③  
16:15~16:30 閉講式(語学講座のみ)  
16:45~18:00 懇親会 ※無料・自由参加・軽食が出ます。

#### 7月29日(土) ※書写書道講座のみ

- 10:30~12:00 講義④  
12:00~13:00 — 昼休憩 —  
13:00~14:30 講義⑤  
14:45~16:15 講義⑥  
16:15~16:30 閉講式

### 第23回 書写書道教育夏期講座

- A(書文化)コース 講師：吉沢 義和(元文教大学文学部教授)  
書作品の創作と鑑賞について学びます。  
B(学校教育)コース 講師：豊口 和士(文教大学)  
小・中・高等学校教育の現場での書写、書道の指導に必要な基礎基本となる事項について、学びます。

### 第32回 英語教育夏期講座

- 「リフレクション(振り返り)による指導力強化とは？」 講師：渡辺 敦子(文教大学)  
「教科書の可能性を広げよう：クリティカルシンキングと世界市民としての意識を育む task-based 学習法」  
講師：Jennie Roloff Rothman(神田外国語大学)  
「ESPを通して英語教育を考える」 講師：寺内 一(高千穂大学)

### 第16回 日本語教育夏期講座

- 「イランにおける日本語教育—宮沢賢治作品のペルシャ語訳の試みと関連させて—」  
講師：サベル・モガッドム(イラン・テヘラン大学)  
「日本語の慣用表現と日本文化教育の接木」  
講師：文 明載(韓国・韓国外国語大学校)  
「変容しつつある中国珠江デルタの日本語教育」  
講師：周 文匯(中国・北京師範大学珠海分校)

### 第9回 中国語教育夏期講座

- 「中国語で歌う『北国の春』」 講師：館野由香理(文教大学・兼)  
「高校の中国語の授業を体験してみよう」 講師：星野 勝樹(埼玉県立伊奈学園総合高等学校)  
「名詞の訳し方」 講師：徐 瓊(中国・北京外国語大学)

### 特別企画 ドイツ語教育夏期講座

- 「ドイツ語、ドイツ語圏地域についての基礎理解—多言語・多文化共生社会をめざして—」  
講師：山川 智子(文教大学)  
「グリム童話と日本の昔話」 講師：野原 章雄(文教大学名誉教授)  
「世界遺産と音楽でめぐるドイツの歴史」 講師：梶谷 雄二(文教大学・兼)

# 夏期講座

### — お申し込みについて —

受講料：無料 ※但し、資料代として500円  
(書道のみ1,000円)を当日受付にて申し受けます。  
申込締切：平成29年7月14日(金) 必着  
申込方法：HPから申込可能です  
<http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/genbun>  
申込先：〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337  
文教大学大学院附属言語文化研究所  
TEL：(048)974-8811(代) (内線2300)  
FAX：(048)974-8012

平成29年7月28日(金)・29日(土)